

二〇一九（平成三十一）年度 三重短期大学法経科第2部入学試験問題（小論文）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

矢野和男『データの見えざる手 ウエアラブルセンサが明かす人間・組織・社会の法則』

二二二～二二四ページ。

（草思社、二〇一四年）より。（ただし、文脈が不自然にならないように一部省略した。）

設問

問題一 傍線部A「人間にしかできないところが3つ残る。」とあるが、それはどのようなところか。筆者の見解を一〇〇字以内で答えなさい。

問題二 傍線部B「学習するマシンが得意な仕事」とあるが、それはどのような仕事か。筆者の見解を九〇字以内で答えなさい。

問題三 傍線部C「学習するコンピュータの登場により、…中略…人間の問題解決能力は飛躍的に向上する。」に示される筆者の見解に対するあなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。